



徹底して住民サイドに立つ市政へ！市議会へ！

津久井 清の 2023年1～2月号 128号

共育だより



立憲民主党

発行：津久井 清 と 共育の会 〒273-0136 鎌ヶ谷市佐津間 2-6 ☎047-444-5262(FAX兼用) e-mail : ktsukui@air.linkclub.or.jp

津久井 清のプロフィール

早稲田大学卒業後、(鎌)中部小、(鎌)四中、鎌中の社会科教師として21年間勤めました。市議会議員としては、市民派議員として「教育充実を」「住民と共に住環境改善の戦い」などに力を入れています。これまでに議会報告「共育だより」を128号発行。議会終了後には市議会報告会を開き、市民とのツーウェイ(相互交流)を深めています。立憲民主党に所属。

津久井議員は、12月の市議会で「第4次歩道整備計画の内容と課題」「市民が担う地球温暖化対策(CO2削減)」について一般質問を行いました。(12月2日) 一読いただければ幸いです。



12月市議会 津久井議員一般質問と市答弁の要点 (POINT)

A 第4次歩道整備計画の内容と課題

質問① (津久井議員) 鎌ヶ谷市民意識調査によると、「道路の状況」への市民の不満足度は2013年度66.4%、2018年度は65.7%と極めて高い値を示しています。市はどう認識していますか。

答弁① (都市建設部長) 多くの市民の皆さまが道路に対し「不満」との結果を市も受け止めています。今後、改善施策を積極的に推進してまいります。

質問② 歩道整備の推進のために、市民の要望をお聴きする「道路月間」などを設けて、市民と行政との「協働」で歩道整備を進めたらどうですか。

答弁② 市民の皆さまの満足度を上げるためにも、ご提案の仕組みを含めて速やかに検討してまいります。

質問③ 市民意識調査による満足度がさらに上がるようにするためには、市はどんな対応をしていきますか。

答弁③ 第4次歩道整備計画を着実に実行します。特に高齢者、障がい者、こどもの安全確保を重点に歩道整備を進めます。



(写真上) 市内の狭い歩道の一例＝すれ違いにくく、車の出入口には段差がある。歩道の一部になっている側溝の上はフタや溝につまづいたりする危険もある。(2022年12月撮影)

B 市民が担う地球温暖化対策(CO2削減)について

質問① (津久井議員) 市民が担う地球温暖化対策で、CO2削減量は ①太陽光発電の設置 ②太陽熱温水器の設置 ③シャワーを使わず風呂の湯で体や髪を洗う が有効性の高い順だと言われています。市はどう認識していますか。

答弁① (市民生活部長) CO2削減量では太陽光発電の設置が最も削減効果が高いと認識しています。今後、太陽光発電の普及、浸透をめざして取り組んでまいります。

質問② 太陽光発電に対する市からの補助金支給では、さらに補助金の総額を増加させて欲しいと思います。また、太陽熱温水器への補助金支給も進めて欲しいですが、どうですか。

答弁② 今年度予算では補助金を前年比で100万円増額しました。今後も太陽光発電事業の拡大を検討します。太陽熱温水器についてはCO2削減効果も大きく、補助を検討していきます。

質問③ 「CO2排出ゼロ宣言都市」ですが、東葛6市では4市が宣言しています。鎌ヶ谷市も決意を込めて宣言を発して欲しい。芝田市長の考えはいかがですか。

答弁③ (芝田市長) 令和5年度からの、次期「鎌ヶ谷市地球温暖化対策実行計画(区域施策)」に併せ、「CO2排出ゼロ宣言」の表明を考えております。

<市議会傍聴者からの感想>

質問の最後で、「太陽光発電によって市民がCO2削減にこれだけ協力できる！ そのことをイラスト入りで市の広報に掲載して欲しい…」との発言に共感を覚えました。(西佐津間・Mさん)

質問を終えて 一言



A 鎌ヶ谷市は5年毎に、市民意識調査アンケート実施しています。その中で、市民の不満足度がダントツに高いのが ①の「道路の状況」についてです。2013年→2018年と5年間を経過しても不満足度は変わっていません。なぜか？ 予想したのは、「道路改善について、市民と市当局の間にズレが生じているのでは？」ということです。

今回の質問は、「市民が日常的に利用する歩道等の生活道路改善」について、「道路月間」などを設けて市民の声・要求を聴いてはどうかという提案です。市は「速やかに検討する」とのことです。今後は具体化をチェックしていきたいと思ひます。

B 工場等が少ない鎌ヶ谷市では、地球温暖化対策としてのCO2削減策は、市民一人ひとりの削減努力に負うところが大きい。①のごとく、太陽光発電設置がCO2削減策でトップの効果です。②で市が太陽光発電設置で市民への補助金を昨年度に続けて今後も増額する方向で検討していることは評価します。また、新設の「(仮)東部地区児童センター」に太陽光発電設備を設置することも決定しました。③芝田市長は、令和5年度に「CO2排出ゼロ宣言都市」を表明すると答弁されています。

ここへ来て鎌ヶ谷市のCO2削減策も、大きく一歩踏み出して来た～と、期待するところです。(津久井 記)





# 徹底して住民サイドに立つ！ = 8つの住民運動を闘って =

市内在住のジャーナリスト加藤勝久氏が津久井市議に面会し、今までに関わって来た住民運動や政治信条などについて直撃インタビューを行いました。

(12月5日取材)

## 法正義のもと、住民・議員・弁護士が一体に

**加藤氏** 津久井議員は長年住民運動に関わって来られたと聞きましたが、具体的にはどのような運動ですか。

**津久井市議** 鎌ヶ谷市内において、**乱開発、悪臭、騒音、道路、粉じん**等で苦しむ住民の訴えを聴き、住民と共に闘ってきました。過去10年余りで8つの住民運動に関わり、多くは住民の要求が通りました。(詳細は右記の「住民運動の記録」に記載)

**加藤氏** 問題解決のために、どのような点を重視しましたか。

**津久井市議** 住民の要求が**正義にかなうもの**であれば、その実現のために思いを共有し、身命を賭けて闘ってきました。

**加藤氏** 社会正義をどのように定義付けしていますか。

**津久井市議** 住民の要求が、単なるクレイマーであったり自己利益のためではなく、**地域全体が救われるもの**であることがポイントです。常に弁護士と連携して取り組んできました。

## マンション建設計画を撤回へ

**加藤氏** 今まで取り組んで来られた中で、特に強く記憶に残っているのはどんなことですか。

**津久井市議** ある地域で幅4mの狭い通学路の奥に**9階建マンションの建設計画**が持ち上がりました。周辺住民は**日照の問題**や**通学路の安全確保**を求めて**1000名を超える建設反対署名**を集めました。私も市議会の一般質問で取り上げ、問題点を明らかにさせました。結局、この計画を撤回させることができました。

**加藤氏** その中で、これをやればなおよかったのではと思うことはありましたか。



● 日本記者クラブ会員加藤勝久氏のインタビューを受ける津久井市議

### 加藤勝久氏

1961年早稲田大学を卒業。テレビ朝日に入社し、報道部門のプロデューサーなどを勤める。退社後も日本記者クラブ会員として活動している。(東初富在住)



ご希望の方に差し上げます

### 「津久井清&住民運動の記録」

(A3判・10ページ 限定増補版)

先着50名様・無料

☎/fax 047-444-5262 津久井へ

**津久井市議** 問題の発生地域だけでなく、**全市民**に知らせていれば問題をより広く共有して貰えたと思います。

## 教育は市の未来を拓くかなめ

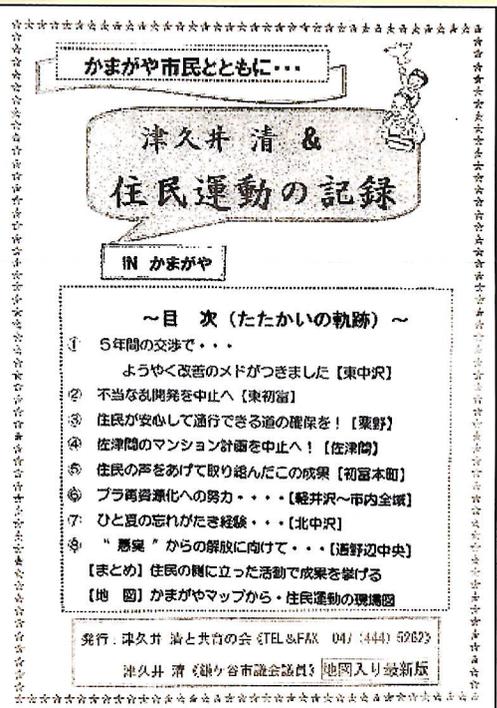
**加藤氏** 津久井市議は、20余年にわたり市内小中学校の教師でした。鎌ヶ谷市の教育をどう見えていますか。

**津久井市議** 鎌ヶ谷市は、市の独自予算で「**学校図書館司書・若いきり先生・特別支援教員**」を全校配置しており、千葉県下ではトップクラスの教育充実都市です。さらに、多忙な教師を助ける「**スクールサポートスタッフ**」を増員すれば、より一層子どもたちに行き届いた教育ができます。

”その街の未来は、どれだけ教育に力を入れているかで判る”とされています。

私は今後も**教育ファースト**を貫きます。

(インタビューの続きは……本紙3月号へ)



## マイタウン情報

### ◆ 東部地区児童センター(仮称)新設へ

2023年度に東部地区児童センターが東道野辺4丁目地区に建設されます。総工費約4億5千万円余、敷地面積2200㎡、鉄骨平屋建てです。

### ◆ 小中学校給食費が一部で全額免除に

2023年1月から鎌ヶ谷市内在住の小中学生で、3人目以降の子どもの給食費が全額免除となります。また、市川市では2023年度からすべての子どもの給食費が全額免除となります。



### 弁護士無料法律相談(要予約)

【日時】 1月21日(土)・2月18日(土)・3月18日(土)  
いずれも13:00～ マスク着用願います。  
【場所】 宮川共同事務所(南初富 きらり会館そば)  
【予約・問合せ先】 ☎・fax 444-5262(津久井)

### 津久井市議会報告会

【日時】 1月29日(日) 13:30～  
【場所】 きらり中央公民館 3階 会議室1  
※ マスクを着用願います。  
【問合せ先】 ☎・fax 444-5262(津久井)

### 本紙ポスティング係募集中

「共育だより」は年4回発行。本紙をポスティングして頂けるボランティアを募集しています。ご協力頂ける方は、下記へご連絡下さい。  
【申込先】 ☎・fax 444-5262(津久井)